

ICT通信

障害特性に応じた 便利なアプリ

第6号 令和6年2月20日発行
ICT活用推進委員会

1 今回紹介するアプリについて

今回は「かながわ障害者IT支援ネットワーク」で紹介するアプリから、本校でも学習に使えるようなアプリを紹介します。どれも無料（DropTalkはすでに小・中学部児童生徒のタブレット端末にインストールされています）のアプリですが、一定の機能を備えており、児童生徒の指導に有効なアプリが見つかるかもしれません。使いやすさを求めると課金するシステムになっていますので、もし課金して機能を拡張したい場合は図書情報教育部まで相談してください。また、無料版なので、いろいろと使いづらさはあるかもしれませんが、児童生徒の実態に合わなければアンインストールも可能です。使えるようなアプリをインストールして、まずは試してみたいかがででしょうか？

2 学習支援アプリの紹介



以前のドロップトークアプリは左のマークでしたが、種々の事情から2021年より、下記1のマークになりました。

No	アプリの名称	アイコン	アプリの内容
1	DropTalk (ドロップトーク)		自閉症や言語障害のある方のコミュニケーションを助ける補助代替コミュニケーションソフト。シンボルと音声に合わせて表出できるVOCAアプリ。
2	えこみゅ		気持ちを伝えるカードアプリ。発語によるコミュニケーションが難しい人をサポートする。日常で使える200種類の絵カードすべてに音声が付いている。
3	絵カードVOCA 「しゃべるんです。」		絵カードを使ったコミュニケーションアプリ。インターネットでダウンロードできるシンボルやサウンドファイルを使ってコミュニケーションボードが作れる。2,000個を超える絵文字もシンボルとして使える。
4	シンプル筆談ボード		筆談ボードアプリ。筆談したい相手の前にiPadを置いて文字による会話ができる。全画面モードで大きな画面で操作できる。
5	コバリテ・コミュニケーション		自閉症支援のための絵カードアプリ。発語のない子どもや話すのが苦手な発達障害の人向けにも活用可能。ページ上の絵カードを動かして文章バーに並べることで文を作る。
6	ふりがな		Safari等のアプリでテキストを選択し、アクションボタンで「ふりがな」のアイコンを押すと、ふりがな付きテキストを表示できる。オフラインでもふりがなが可能。
7	UDトーク		音声認識と自動翻訳を活用し、コミュニケーション支援やテキスト入力、文字起こし、議事録作成もできる（音声を文字化）。

No	アプリの名称	アイコン	アプリの内容
8	こえキャッチ		コミュニケーションに必要な「声の大きさのコントロール」を学べる。ネズミの声やライオンの声など、声の大きさを調整できるようになることを目指すアプリ。
9	アシストガイド		やることとやり方が一つになったアプリ。スケジュール管理や持ち物チェックに写真を取り入れることも可能。主に自分のスケジュール管理が難しい人向け。
10	札算		字を書くことが特に苦手な発達障害の人のための筆算お手伝いアプリ。数字カードをドラッグして操作しながら計算ができる。
11	PIBO(ピーボ)		絵本の読み聞かせアプリ。1日3冊までであれば無料で利用でき、自動めくり機能も搭載している。360冊以上の絵本が読み放題。
12	ぽんぽんわーど 金魚すくいゲーム		画面をとんとん、スイッチをぽんぽんお祭り屋台でできる金魚すくいゲーム。無料版では、やや制限があるが、繰り返し使える。肢体不自由児向けアプリ。
13	絵カードタイマー		主に自閉症など、時間の把握が難しい人のタイマーとして使用するアプリ。残り時間を視覚的に分かりやすく表示するだけでなく、同時に絵カードも表示して何のための時間かを分かりやすく表示できる。カメラで撮影した画像も絵カードとして使用できる。
14	DropTap (ドロップタップ)		DropTapはドロップレット・プロジェクトが開発した新しいコミュニケーション支援アプリ。話し言葉によるコミュニケーションが難しい人でも、シンボルと音声を使って他者とやりとりができる。2,000語以上のシンボルと音声从一开始から搭載されていて、シンボルを「ボード」に配置し、タップするだけで音声再生され、すぐに使うことができる。複数のシンボルをまとめて文章として再生する機能もあり、カメラやアルバムからシンボルの追加も可能。先生が作ったボードを家庭でも使う、といった共有が簡単にできるが、通常通りApp Storeで購入すると1台あたり1,500円掛かる。

3 アプリのインストールについて

以前もお知らせしましたが、小・中学部の児童生徒用タブレットについては、個別でも学級あるいは学部一括でもアプリをインストールすることができますので、希望するアプリがある場合は図書情報教育部までお知らせください。学部に関わらず、職員用のタブレット端末については、ご自身でインストールする必要がありますので、方法が分からない場合はご相談ください。また、高等部の生徒用タブレットは一括でインストールすることができませんので、個別に図書情報教育部員にお尋ねください。なお、上記で紹介した14の「DropTap」については、「NPO法人ドロップレット・プロジェクト」様から児童生徒用として無償提供されており、すでに小・中学部の児童生徒のタブレット端末にはインストールされています（先生用は今のところ、1,500円で有料となりますので、まずは児童生徒のタブレット端末でお試ください）。